

# 平成28年度事業計画書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

はじめに

当協会は設立以来、「学校給食を通して児童・生徒の心身の健康に資する」ことを基本理念として活動しております。昨今、食の乱れが指摘される中、将来を担う子ども達の成長のために学校給食の果たしている役割は非常に大きいものがあります。学校給食法の目標を踏まえた食育推進活動が求められておりますが、学校における食育推進の中心的役割を果たしているのは栄養教諭・学校栄養職員であります。当協会は学校給食に直接携わっている栄養教諭・学校栄養職員をサポートするとともに、学校給食が児童生徒のこころとからだの健康と健康的な食生活を送ることのできる成人になっていくために如何に貢献しているかを、食育推進活動を通して、国内及び海外の幅広い人々に情報発信してまいります。

また、本年度は学校給食用優良食品の開発・改良に積極的に取り組むと共に、生産工場の品質管理の徹底に向けた取り組みを継続して実施して参ります。併せて公益社団法人全国学校栄養士協議会との共同開発製品である非常食第1弾「救給カレー」の更なる普及推進を図ると共に、非常食第2弾「救給和風汁物及び洋風スープ」の開発及び発売後の普及に向けて取り組んでまいります。

そうした日々の地道な取り組みを積み重ねる事で、当協会活動に対する信頼と評価の向上に繋げると共に、子ども達の健やかな成長に貢献してまいりたいと考えております。

これらの趣旨・目的を達成するための具体的な活動は以下の通りです。

## 公1 食育推進事業

### I. 食育の推進に関する活動

#### 1. 普及活動

栄養教諭・学校栄養職員に調理研究情報を提供すると共に、調理技術の向上と併せて調理理論・栄養理論の習得を図る目的で、(公社)全国学校栄養士協議会の協力のもと全国において調理講習会を実施します。また学校給食の持つ教育的意義と家庭における正しい食生活のあり方を啓発するため、栄養教諭・学校栄養職員の指導のもと親子及び地域住民等を対象とした料理教室を開催します。

併せて、非常食の更なる普及に向けて、各地の取り組み事例の紹介及び、各種展示会への積極的対応等、取り組んでまいります。

### 1) 調理講習会

全国各都道府県の栄養教諭・学校栄養職員を対象に学校給食用優良食品を使った献立の開発、調理技術の向上、及び当該製品の一層の普及、使用拡大に向けて全国 17 都道府県において開催します。尚、開催県の選定に当たっては（公社）全国学校栄養士協議会の協力を得て決定します。

### 2) 親子料理教室

親と子、或いは地域住民を対象に家庭における正しい食生活のあり方を啓発する目的で地域社会に密着した親子料理教室を全国 24 都道府県（1 県あたり 3 ケ所以上）で開催します。

開催県の選定については、調理講習会と同様（公社）全国学校栄養士協議会と相談の上、決定します。開催に当たっては教育委員会・P T A・（公財）都道府県学校給食会等の協力を得て栄養教諭・学校栄養職員の指導のもとに実施します。

### 3) 講師の派遣及び紹介

全国の栄養教諭・学校栄養職員が開催する調理講習会、研修会や給食現場の衛生管理指導等への講師派遣、並びに紹介に対応します。

## 2. 広報活動

### 1) 機関情報誌「すこやか情報便」の発行

全国都道府県・市町村教育委員会、公立小学校・中学校、栄養教諭・学校栄養職員、栄養士養成大学はじめ学校給食関係者及び学校給食関係者以外の人々へも幅広く、タイムリー且つニーズにあった情報を発信してまいります。

今年度のテーマは当協会普及改善委員会において提起された多くのテーマから取り上げ、第 19 号「食物アレルギー」の続編に続いて第 20 号（テーマ未定）と、年 2 回の発行を予定しております。

### 2) 「日本の学校給食」パンフレットの活用

世界一と言われる素晴らしい日本の学校給食の取り組みを国内外に広く伝える為に、すこやか情報便と併せて「日本の学校給食」4ヶ国語版パンフレットを様々なルートを活用して幅広く広報し、国内外の学校給食の充実に寄与して参りたいと考えております。

### 3) ホームページの充実

本年度はホームページを大幅に見直し、全国の学校給食や食育に関する最新情報をタイムリーに発信し、学校給食に関わる方々はじめ、食育や学校給食に関する情報を求める多くの方々が分かり易く、ご覧いただけるように改善してまいります。

### 4) ニュースレターの拡充

今年度も引き続き「改善協会ニュースレター」として年10回、全国約300部（含む法人）の学校給食関係者などに対し、協会内で吟味した学校給食や食育に関する情報を提供します。

### 5) 復刻版「食育の紙芝居」の活用

復刻版「食育の紙芝居」については、継続して調理講習会及び各種の展示会を通して普及促進に努めてまいります。

6) 全国で開催される学校給食関連大会（含む、都道府県学校給食会商品展示会）等に参画し、機関情報誌等の配布、非常食及び学校給食用優良食品などを展示・紹介する事により食育の普及に努めます。また関連する研修会、講演会各種セミナーにも積極的に参加して研鑽を積み、活動内容のレベルアップに繋げて参ります。

#### 【平成28年度の代表的な全国大会開催予定】

第11回食育推進全国大会（6月11日～12日 福島県郡山市）

第57回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（8月3日～4日 大阪府）

第67回全国学校給食研究協議大会（11月10日～11日 秋田県秋田市）

平成28年度文部科学省・農林水産省主催学校給食週間行事への参加（1月）

## II. 学校給食事業に関する助成

### 学校給食団体への助成

学校給食事業の向上・発展に寄与している次の団体に対し、事業運営のための費用助成を行います。

- 1) （公社）全国学校栄養士協議会
- 2) （一社）日本学校調理師会

## III. 学校給食の状況に関する調査研究等の活動

1. 中学校における給食実施率の向上を図る為の情報収集を継続して実施  
政令指定都市を中心に中学校給食実施に向けた全国の動きを情報収集する中で、ホームページ及び各種展示会を通じて情報発信してまいります。
2. 海外の学校給食事情視察実施に向けて、対象候補となる地域、状況などの調査、情報収集を行います。尚、対象となる地域については、昨今の世界の治安情報を十分勘案した中で決定します。
3. 給食関係者との連携強化  
平成 27 年度に引き続き（公社）全国学校栄養士協議会の協力を得て品質等調査研究員（モニター）による全学栄関連製品の評価及び流通実態調査を実施します。必要に応じメーカーにフィードバックする事により、製品の改良並びに新製品の開発等に役立ててまいります。

#### IV. 給食物資に関する調査研究並びに供給

1. 学校給食用優良食品の開発研究
  - 1) （公社）全国学校栄養士協議会との共同事業である災害時の学校給食用非常食第 2 弾「救給和風汁物及び洋風スープ」の開発及び、発売後の普及に向けて取り組んでまいります。
  - 2) 学校給食関係者及び品質等調査研究員等の意見を踏まえて、全学栄すいせん製品の開発・改良及び地域開発製品の開発に向けて、積極的に取り組んでまいります。
2. 全学栄製品・全学栄すいせん製品の認定業務及び工場査察  

（公社）全国学校栄養士協議会より委嘱された全学栄関連製品の製造工程視察及び、衛生管理・品質管理の指導を含めた認定業務を代行します。

また、平成 26 年度より実施している全学栄関連製品の生産工場に対する査察を今年度も実施し、品質管理の強化に向けて取り組んでまいります。
3. 学校給食用脱脂粉乳供給事業

学校給食用優良食品として児童・生徒の健康と成長に大きく寄与している安全で安心な脱脂粉乳を、関税無税の措置を受けてオセアニアより輸入し、各都道府県の学校給食会を通じて安定供給して参ります。併せて調理講習会等を通じて需要の拡大に努めてまいります。

また、今年度も二つのブロックにおいて脱脂粉乳取扱い講習会を実施し、受講者に様々な知識を付与すると共に、税関等の関連機関との情報交換を図ってまいります。

#### 4. その他関連団体との協業

文部科学省、(公社)全国学校栄養士協議会、(独)日本スポーツ振興センター、全国学校給食会連合会、(公財)都道府県学校給食会、(一社)日本学校調理師会、その他関係団体と共に必要に応じて食育・学校給食に係わる事業を推進します。また、昨年度に引き続いて公立高校におけるミルク給食実施に向けて、(一社)Jミルクと連携して更に情報収集を進めると共に、関係団体を巻き込んだ取り組みを実施して参ります。

### V. その他目的を達成するために必要な事業

#### 1. 「学校給食普及改善委員会」の開催

本年も学校給食現場で従事する方々と現場最前線における最新情報及び、意見や見解などを率直かつ活発に交換する事により、当協会の公益活動を一層充実させます。尚、メンバーは昨年度新たに選出され、任期は29年3月末までの2年間となっております。

#### 2. 寄付募集の拡充

公益財団法人移行に伴い、法人・個人を問わず、寄付の更なる拡充に努め財政基盤の充実に努めてまいります。

### 公2 国産食肉需要構造改善対策事業

本年度は(独)農畜産業振興機構の公募を見送ることとします。

以上